

ねがわ
20.4 根川緑道花見散歩

集合 中野島駅 9:25

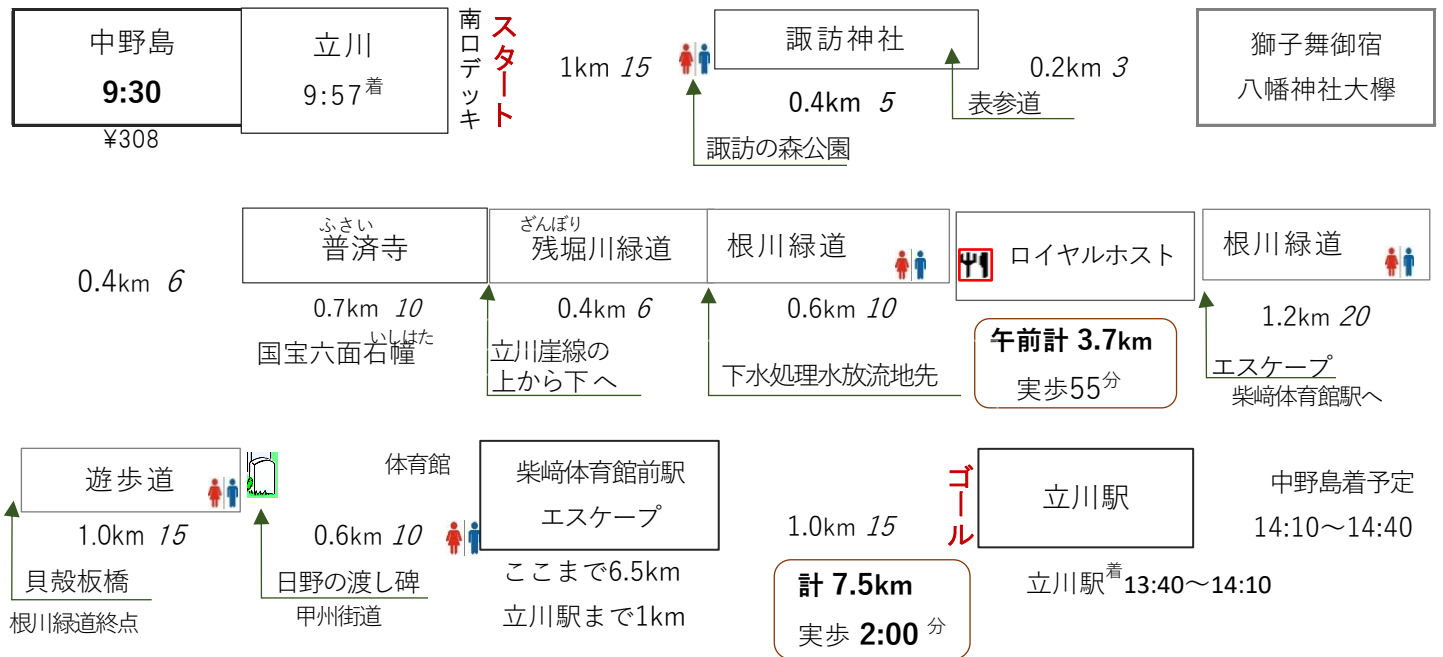
担当 松永 090-1609-5814

期日 2020.4.7日(火)

斜数字 休憩.信号待等を含まない実歩行時間

昼食 ロイヤルホスト立川南店

km 坂.階段を考慮しない地図上の水平距離



コース概要 立川駅をスタート地に、1200年の歴史を持つ由緒ある諏訪神社へ。樹齢800年といわれる八幡神社大ケヤキを經由して、関東の名利普濟寺で国宝六面石幢を拝観します。立川崖線の端にたつ普濟寺からはコンクリート護岸の残堀川とその桜並木を眼下に眺めます。この後、桜並木の残堀川遊歩道を根川へ歩きます。都市化による流水の汚染と氾らんを繰り返すコンクリート張の根川が「自然の水際線のせせらぎと緑と花の根川に蘇った」姿の根川緑道を花見散歩して、緑道終点貝殻板橋から甲州街道日野の渡し経由で立川駅へ戻る花と歴史散歩です

エスケープ は昼食後と1km残した2ヵ所でモノレール柴崎体育館駅への離脱ok.です。

昼食 ロイヤルホスト立川南店

根川緑道 嘗ては立川崖線の湧水など集めた3kmの清流の流れでしたが、都市化の進展と共に汚濁化と氾らんを繰り返す都市河川の姿になりました。これに対して、根川を残堀川へ付替えてる防災事業に加え、付け替えた下流には下水高度処理水*2700トン/日を放流する一方で、従来のコンクリート護岸を壊して自然の水際線の川へ造り替え、水辺植物の導入と水生生物の移入や立木の改善等を行なって、巾30m.延長1.4kmの「花.緑.せせらぎ」のリニアパークに生れ変わりました (*高度処理下水 下水処理場で処理された処理水から更に窒素.りんを取り除いた処理水)

普濟寺 開創は1353年といわれ、臨済宗建長寺派に属する多摩一円に末寺18ヶ寺を有する名利です。
国宝六面石幢 は仁王像と四天王(持国天.増長天.多聞天.広目天)の六像を緑泥片岩の板石に刻み、六角の柱状に組み合わせ、六角形の笠石と台座で固定した石幢です。暗くて見にくいので注意してご覧下さい。

諏訪神社 祭神は大国主の第二子 タケミナカタノカミ(武神)。811年、諏訪大社から諏訪の森公園に分祀され、これが立川諏訪神社の始まりといわれ、東国さつての名社として大勢の人々の信仰をあつめました。嘗ては立川市内最古の木造建築物の本殿や江戸時代の拝殿等を有していましたが、現在の社殿は、1994年に不審火による火災で焼失し、2002年に再建されたものです。

八幡神社大ケヤキ 八幡神社が創建された1252年に参道に植えられたと伝えられています。八幡神社は明治40年に諏訪神社本殿東に移設されています。立川市天然記念物

甲州街道日野の渡し 江戸に帰る人は「やっと江戸に着いた」一方の江戸から出る人は「こんな遠くの異境の地まで来た」とつぶやくところだそうです



コンクリート張から自然の水際線の根川



下水高度処理水のせせらぎの根川



普濟寺参道

